

富岳一ノ瀬荘流のOJTによる 職員のスキルアップ

—余暇活動を通してのスキルアップ—

社会福祉法人 富岳会 富岳一ノ瀬荘
介護員 池谷 信洋

はじめに

福祉の現場では介護技術以外にも、行事や活動の運営技術が必要とされます。

そこで当施設では、どのように行事や余暇活動を運営しているのか、どのように職員がスキルアップを目指しているのか、当施設の取り組みを紹介したいと思います。

OJTとは

上司や先輩が部下や後輩に対し具体的な仕事を通じて仕事に必要な知識・技術・技能・態度などを意図的・計画的・継続的に指導し、修得させることによって全体的な業務処理能力や力量を育成するすべての活動です。

当施設の理想の職員像

当施設における理想の職員像とは

1. 後進への具体的な指導・評価が出来る職員
2. 細かいことまで問題意識を持ち、それを解決していく力を持った職員

以上のことが職員には求められ、日々の業務を通して訓練されています。

理想の職員に向けて、 日々の業務に取り入れられた 行動主義

行動主義について

1. 行動主義とは

すべての行動を具体的に明らかにし、目標を達成する為に、達成可能な小さい目標を設定し、暫時的な接近を目指すことです。

行動主義について

2. 暫時的接近とは

スモールステップで、短期間で達成できる目標を具体的にたて、徐々に目的を達成することです。

行動主義について

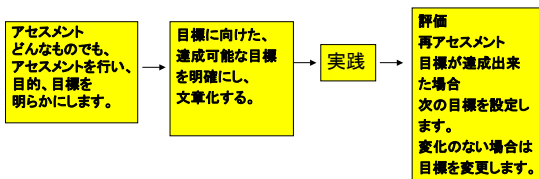
3. 施設での取り組み

当施設では、この行動主義を、様々なものに取り入れています。

- ・職員へのOJT
- ・ケアプラン
- ・日々の余暇活動 etc...

行動主義について

4. 取り組み方法



行動主義の具体的な取り組み

それでは、どのように行動主義は、利用者の日々の生活に取り入れられ、職員のOJTが行われているのか、毎週行われている私が担当している、音楽活動を通して紹介していきます。

余暇活動紹介 器楽活動

音楽活動(器楽)について

当施設の器楽活動とは、毎週金曜日に、コンガ・ジャンベ・ボンゴ等のラテン楽器を使用し、キーボードのリズム、生の演奏に合わせて、活動を行なっています。

利用者の方の技術の向上、またそれに伴った問題活動を目指して行っています。

音楽活動の目的

- ・さまざまな課題(テンポ、リズム、強弱、長短、高低)を使うことで、頭を使い、身体を動かし、心身のリハビリにつなげる。
- ・様々な形態(重さ・大きさ・操作方法・手触り)を有する楽器(ジャンベ、コンガ、ボンゴ)の中から、個々の残存機能や、好み等、自分に合った課題を選択し利用者の技術の向上を目指す。
- ・行事での発表という目標を持ち、日々の練習を意味のあるものにする。

音楽活動の流れ

時間	イベント	内容
13:20	事後ミーティング	役割、遊び、動きの把握、引継ぎノートの確認
13:30	挨拶・体操	挨拶を行い、体操を行う。
13:40	練習目的の把握	何に向けて練習していくのか周知していただく。
13:43	練習開始	①一発ずつ大きな音、小さい音を合わせて出す。 ※音が合うまで、繰り返す行う。 ②リズムを(3拍子、4拍子)変化させ、そのリズムに合わせて行う。様々なリズムを聞く
13:53	楽器練習	①コンガ、ジャンベ、ボンゴのパートごとに分かれる。 ②ドラムを叩き、楽しくリズムを習い(コンガは3拍子、リズムに合わせて職員が見本を見せる。その後、利用者が叩く。(覚えるため、1グループごとに行う)
14:05	パート練習	①パートごとに6分間練習を行う。職員は1パートに一人ずつつく。その間リズムは流れている。
14:10	合流練習	①練習してきたように、テンポ60で、合わせる。 ②合ってきたら、テンポ80であわせる。 ③さらに、無難なのではというようにテンポ120で合わせる。 ④最後に本番のテンポで叩く。
14:20	体操・終わりの挨拶	①簡単な体操を行う。 ②次回の内容を伝える。
14:45	事後ミーティング	今日の反省、次回の内容、役割を決める、引継ぎノートへの把握。

音楽活動の様子



このように、利用者の方は自分に合った、楽器を使い、行事での発表に向けて活動に参加しています。

音楽活動の発表の様子



このように、施設内外のステージにて、日頃の音楽活動の成果を発表します。

音楽活動の暫時的接近

このような流れで、毎週の活動は行われ、活動に対してもアセスメントは行なわれ、利用者個々の長期目標を達成するために、短期目標を設定し、具体的な目標、短期目標を達成する為の支援方法まで細かくケアプランに記載され、全職員が同じ方法で対応できるようになっています。

では、実際にケアプランを使って紹介します。



左写真のように、ケアプランの中には、余暇活動の具体的な内容も記載されています。

ケアプラン紹介

参加される余暇活動すべてにプランは存在します。

左は解決すべきニーズです。

ケアプラン紹介

短期、長期目標もケアプラン同様記載されます。

ケアプラン紹介

サービス内容も具体的に記載しています。

活動記録紹介

活動後は、毎回活動記録を記載し一人ひとりの、活動内容を記載しています。

余暇活動を通しての職員へのOJT

余暇活動の担当職員

当施設では、音楽活動以外にも造形、レクレーションの活動が行なわれており、職員は自分の力を最大限発揮できる余暇活動の担当となって運営しております。

音楽活動の担当になった場合

担当となった職員は、年度初めに計画の作成、一人一人の目標の設定、活動の基本的な流れを企画し具体的に文章化します。目標の達成や問題が起これば、随時計画の変更を行う必要があります。

音楽活動を運営するために

実際に活動を運営する場合、職員は初め、アシスタントとして、流れに沿って、メインの職員の補助を行いながら、メインの職員の運営方法を学びます。

メインの職員になった場合、基本的流れをベースに、個々の目標を達成する為の運営方法を考えながら、目標への暫時的接近を目指します。

行事に向けての職員の動き

行事での活動への発表に向けて、どのような準備、企画が行われているのか、紹介します。

行事



行事に向けて

年度	職員	担当
2014年度	職員A	音楽活動
2015年度	職員B	音楽活動
2016年度	職員C	音楽活動
2017年度	職員D	音楽活動
2018年度	職員E	音楽活動
2019年度	職員F	音楽活動
2020年度	職員G	音楽活動
2021年度	職員H	音楽活動
2022年度	職員I	音楽活動
2023年度	職員J	音楽活動
2024年度	職員K	音楽活動
2025年度	職員L	音楽活動
2026年度	職員M	音楽活動
2027年度	職員N	音楽活動
2028年度	職員O	音楽活動
2029年度	職員P	音楽活動
2030年度	職員Q	音楽活動

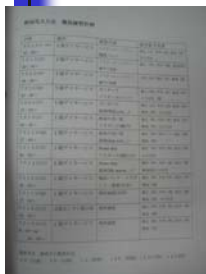
音楽担当は、行事に向けて、どのように、進めていくか、予定表を組みます。

行事に向けて



企画会議(グループワーク)を企画、運営します。

行事に向けて



職員も日々の活動、行事で、バックバンドとして演奏するため、練習を行っています。

行事に向けて



こうして、行事での発表は行われます。

音楽活動から学べること

このように、音楽活動の運営、行事のステージの運営を通して、職員は様々なものを習得していきます。

- 人前で話す力・司会進行の技術の習得
- 会議の運営方法の習得
- 余暇活動での専門知識、技術の習得

今後の課題

行動主義の考え方は、様々なものに取り入れられていますが、自分はもちろん、全職員が的確に行なえていない現状があります。全職員が、この方法で対応できるよう、意識の統一が今後の課題です。